



# ARCHITREND 省エネナビ

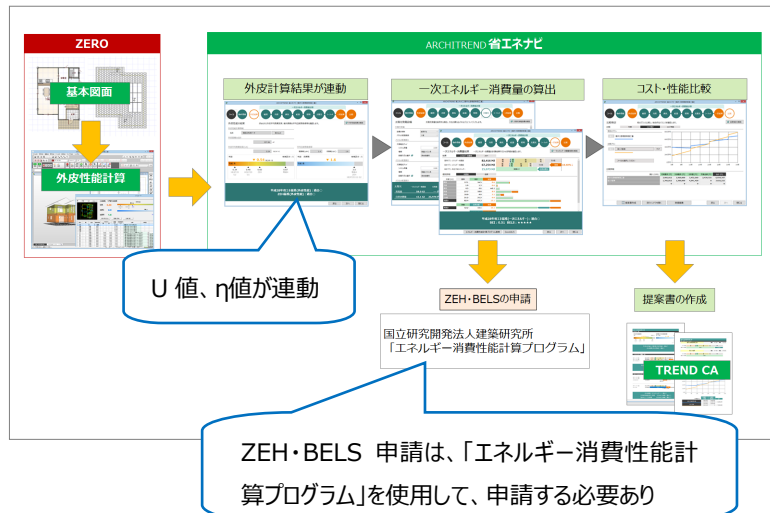
1 省エネナビについて _____	1
2 起動・一次エネルギー消費量計算 _____	1
3 プランの比較 _____	5
4 TREND CA を使った提案書の作成 _____	6

# 1. 省エネナビについて

「省エネナビ」は、外皮性能計算プログラムで計算した結果を連携し、一次エネルギー消費量の計算を行うことができます。

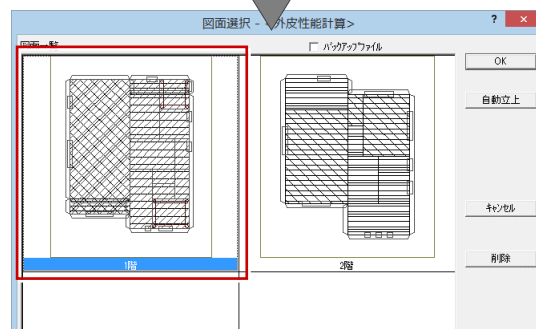
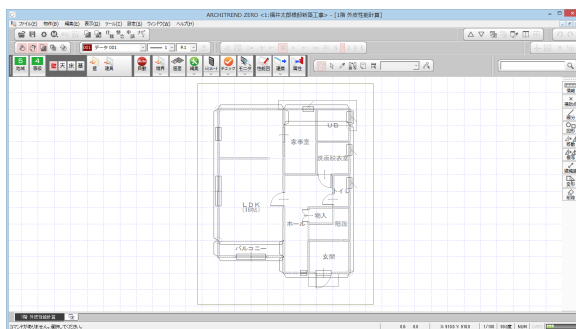
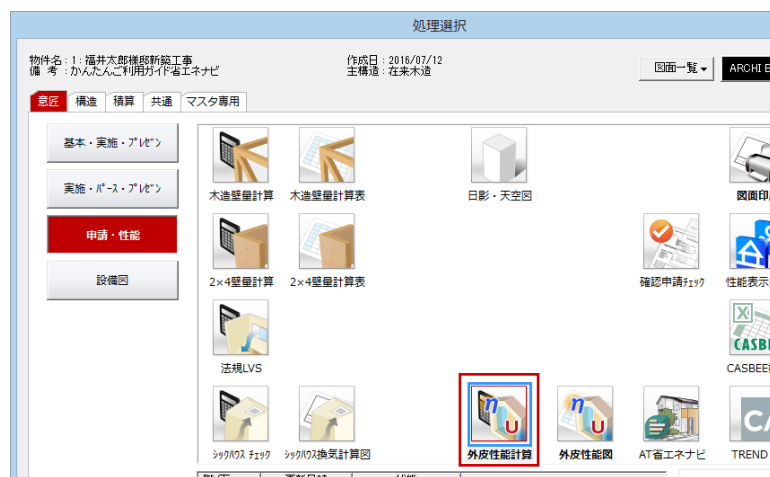
計算結果は国立研究開発法人建築研究所の「エネルギー消費性能計算プログラム」に連携して、ZEH・BELS などの申請書を作成できます。

また、同じ物件データで複数のプランを保存してエネルギーやコスト面を比較したり、TREND CA へ連携して施主への提案書を作成することもできます。



# 2. 起動・一次エネルギー消費量計算

では、外皮性能計算プログラムから ARCHITREND 省エネナビを起動しましょう。

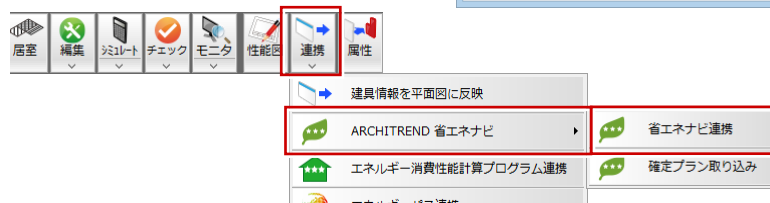


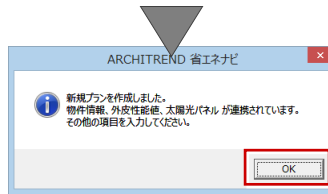
省エネナビに連携する前に、U 値や η 値の判定を確認します。



ここでは、外皮性能計算は終わっています。

確認が終わったら、「連携」メニューから「ARCHITREND 省エネナビ」の「省エネナビ連携」を選びます。

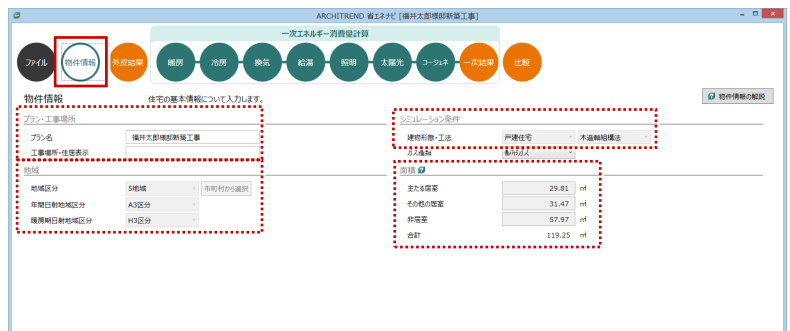




省エネナビが起動し、「外皮結果」に、外皮面積の合計、U 値と η 値のそれぞれの結果が表示されます。



「物件情報」に切り替えると、「プラン・工事場所」には、物件情報の名称が連携します。



「地域」「面積」「シミュレーション条件」の建物形態・工法も ZERO から連携します。

次に、一次エネルギー消費量計算を行うために、設備機器を設定します。



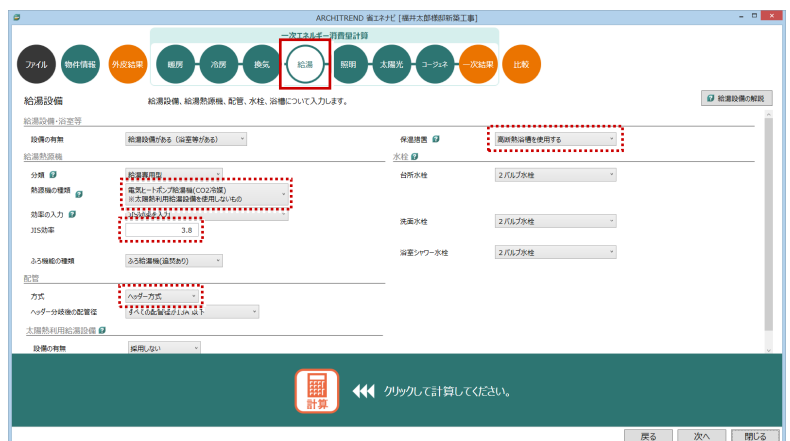
暖房、冷房、と順に設定していきます。

画面の右上の解説ボタンをクリックすると表示しているページについてのヘルプが開きます。また、項目の横にマークがあるものは、そこからヘルプが参照できます。



続けて設備の設定を行っていきます。

ここでは、例として、「給湯」の「熱源機の種類」、「JIS 効率」、「配管の方式」、「保温措置」を変更しています。



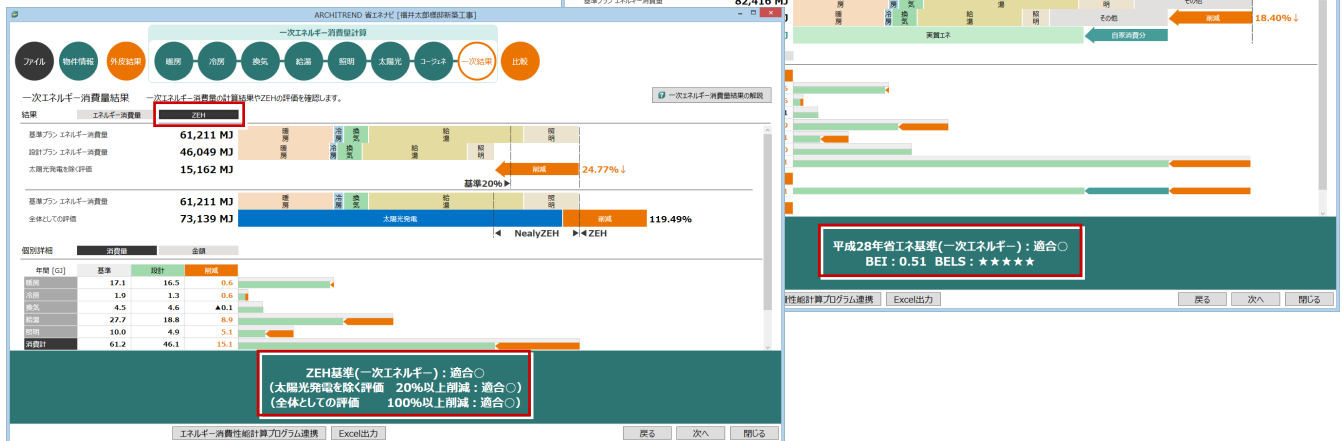
「太陽光」についても、太陽光パネルを配置（採用）するものとして計算を試してみます。



設備の設定が終わったら、「一次結果」をクリックします。

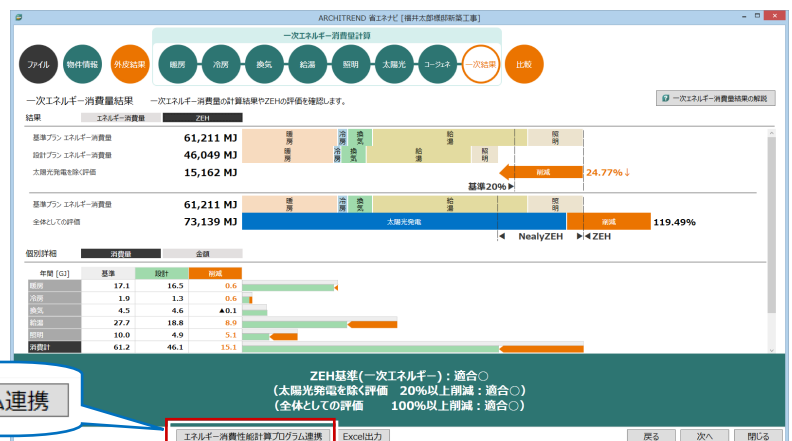
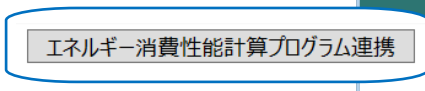


一次エネルギー消費量の計算結果と適合判定、ZEHの計算結果と適合評価を確認することができます。



そして、ZEH、BELSなどの申請をする場合は、「エネルギー消費性能計算プログラム連携」から国立研究開発法人建築研究所の「エネルギー消費性能計算プログラム」に連携して、申請書を作成できます。

※ エネルギー消費性能計算にはインターネット接続が必要です。



省エネナビプログラムで設定されていた内容が、「エネルギー消費性能計算プログラム」の各カテゴリーに読み込まれます。

「計算」を実行して、「出力」から申請書を作成できます。

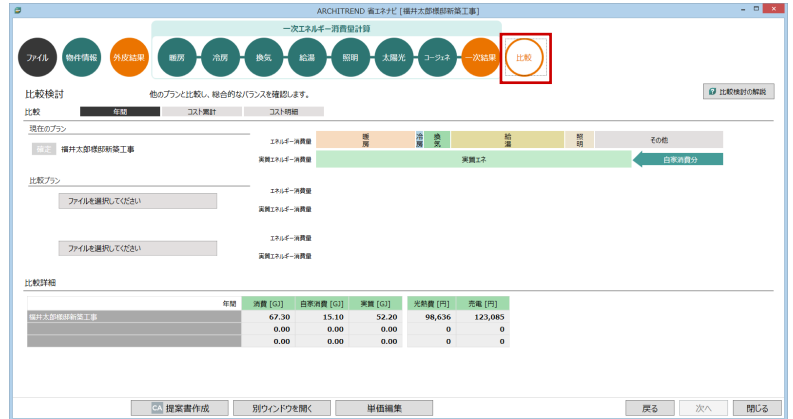
エネルギー消費性能		
	設計一次	基準一次
暖房設備	16.5	17.1
冷房設備	1.3	1.9
換気設備	4.6	4.5
給湯設備	18.8	27.7
照明設備	4.9	10.0
その他設備	21.2	21.2
削減値	15.1	-
合計	52.2	82.4

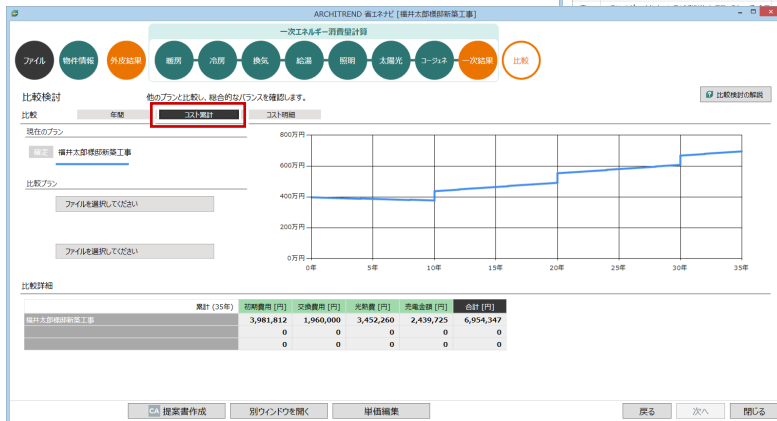
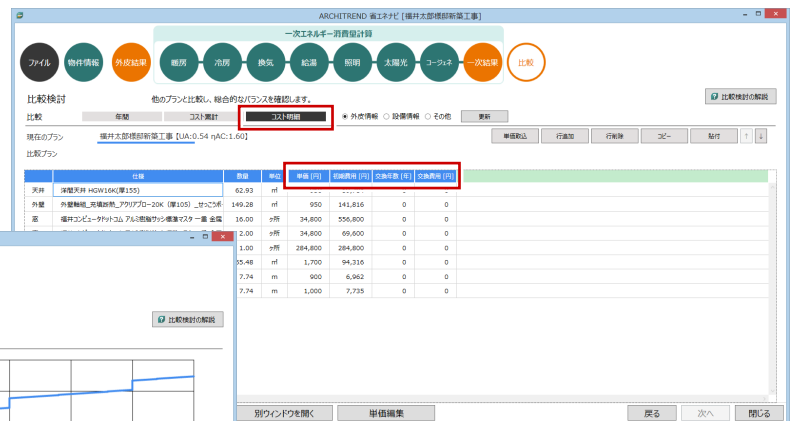
基準値		
	基準値	誘導基準値
H28年4月以降	82.4	76.3
H28年4月現存	88.5	82.4

### 3. プランの比較

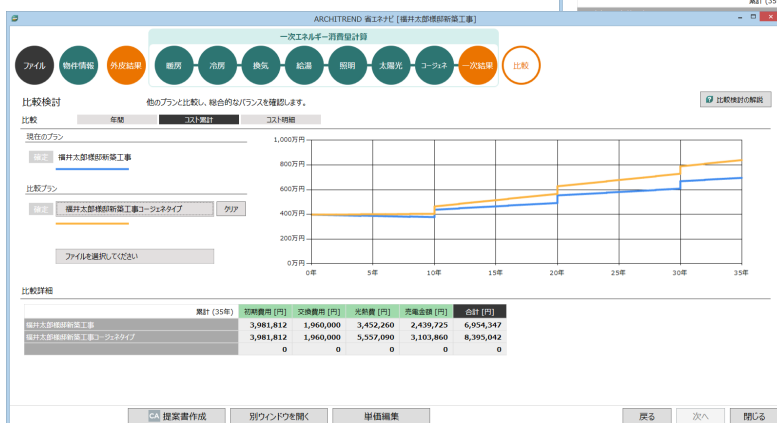
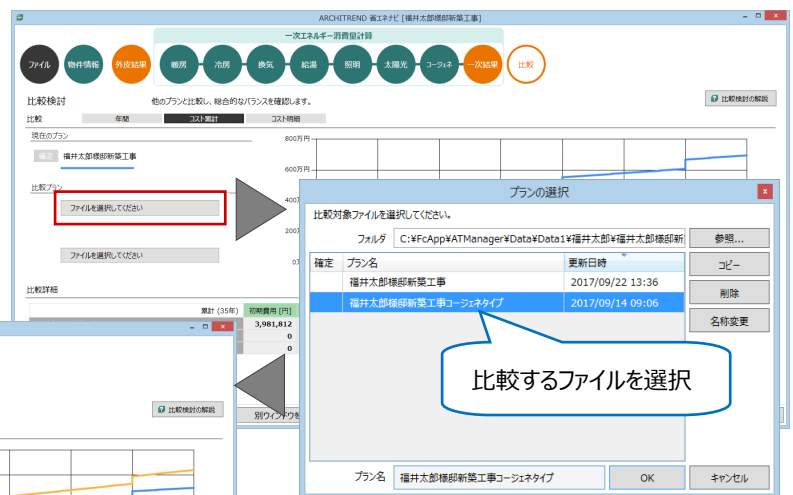
次に、「比較」をクリックすると、一次エネルギー消費量計算より算出した年間の金額と、35年間のコストから省エネ住宅の性能とコストを比較することができます。



「コスト明細」で単価、初期費用、交換年数、交換費用などを入力して「コスト累計」に切り替えると、年間のエネルギー消費量より算出した金額などから、35年間のコストを確認できます。



そして、「比較プラン」の「ファイルを選択してください」をクリックして比較対象のファイルを選択すると、そのプランのコストも表示されて比較できます。



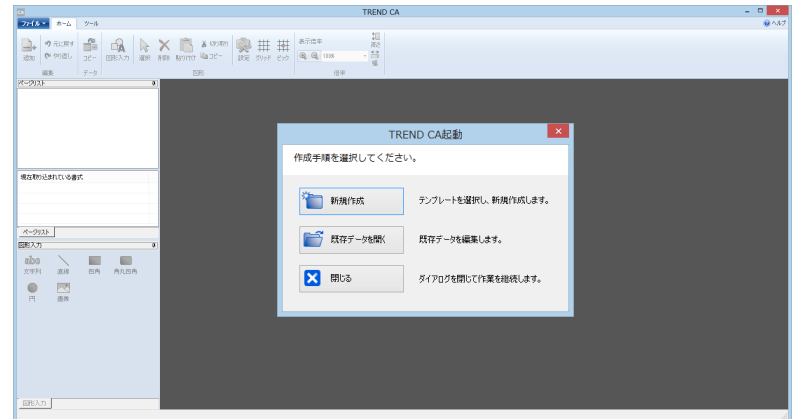
## 4. TREND CA を使った提案書の作成

次に、比較した内容を TREND CA に連携して提案書を作成します。

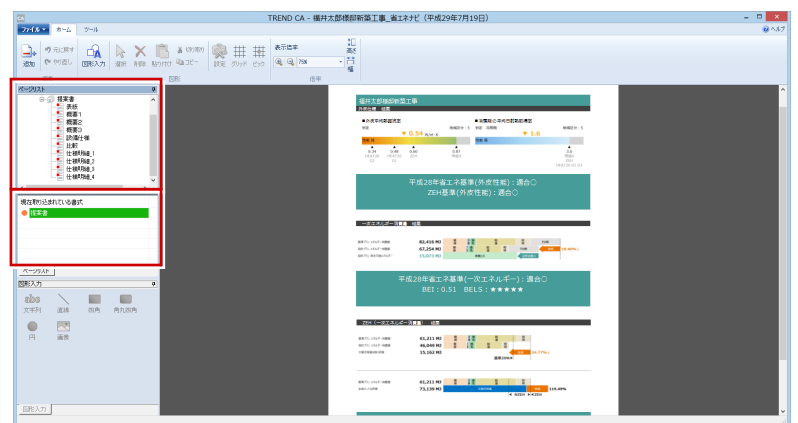
比較詳細	累計 (35年)	初期費用 (円)	交換費用 (円)	光熱費 (円)	売電金額 (円)	合計 (円)
標準太陽光発電設備工事		3,981,812	1,960,000	3,452,260	2,439,725	6,954,347
標準太陽光発電設備工事-フラットタイプ		3,981,812	1,960,000	3,307,000	3,103,060	6,305,042



「提案書作成」をクリックすると、「TREND CA」が起動して、提案書が開きます。



「ページリスト」の各ページには、省エネナビから連動したデータが表示され、例えば、「概要 2」では、外皮仕様や、一次エネルギー消費量結果、ZEH の結果が連動していることを確認できます。



以上で、ARCHITREND 省エネナビの説明を終わります。

より詳細な操作内容を確認する場合には、教材動画のご利用をご検討ください。